

平成20年度第4回海老名市環境審議会結果

日時 : 平成21年1月8日(木) 10:00~11:40

場所 : 市役所702会議室

出席者 : 内野市長

石井会長、白石副会長、上野委員、青木委員、高崎委員、飯田委員、森田委員、小久保委員
海野委員、渡邊委員、佐藤委員

事務局 : 石川部長、落合次長、岩壁課長、増田主幹、郷田主幹

傍聴者 なし

1. 開会(進行) 岩壁課長

2. あいさつ 内野市長 石井会長

《市長から石井会長へ諮問》

内野市長から石井会長に「(仮称)海老名市第二次環境基本計画(素案)」について諮問書を手渡した。

《市長退席》

3. 議事進行: 石井会長

(仮称)海老名市第二次環境基本計画(素案)について(諮問事項)

【(仮)海老名市第二次環境基本計画(素案):本 編】

No.	発言者	質問・意見	回答
1	委員	缶やペットボトル等のリサイクル率に関するグラフはあるのか	計画には、具体的な数値は掲載していないが、数値を入れることを検討する
2	委員	工場・事業場の密集化が今後ますます進むと思われるが、それに対する騒音・振動対策について具体的にどのように考えているのか。	法による規制・指導を行う。住工混在も要因になっている。
		個人住宅では緑化できるスペースはあまりないので、公共施設、道路等を率先して進めたほうがよい。	海老名市緑の基本計画、えびなの森創造事業及び実行計画推進プランの中で網羅している。
		自動車の使用抑制に伴い、自転車専用道路の整備が必要である。	P63参照
		旧計画の成果があまり、掲載されていないCO2吸収の新技术について	P1参照 別編で扱う
		ごみの有料化は不法投棄の増加にもつながる可能性がある。	家電リサイクル法改正による商品購入時での対応を国に要請中である。
3	委員	道路環境整備は、市が直接行うことしか、触れていない。国・県への要請についても記述したほうがよい。	国・県が係わる場所は、いかに要請していくか検討する。
		駅周辺の電線について、防災上、大丈夫なのか。	海老名市地域防災計画、東京電力等にも関係してくる。
4	委員	現計画では、4つの分野があるが、2つに区分され、項目が増えている。個々の説明がほしい。	
		「粕横山九里の土芋」の保全方法について、所有者の利用形態(相続関係)による減少は以前からあるが、踏み込んで具体的な記述がほしい。	
		市民はごみの分別に努力している。その成果等を表記できないか。	
5	委員	太陽光発電の補助について	太陽光発電については、国、県の補助もあり、近隣市とのバランスもあるが、市でできることは実施する。
6	委員	農業組織に対する支援についてどのように考えているのか。既存組織、新たな組織両方からの支援を考えているか。	農業は、新しい組織を作らないと立ち行かない。既存の組織と新しい組織と両方の観点で考えていく。

【別 編】

No.	発言者	質問・意見	回答
1	委員	海老名市の温室効果ガスの排出量については、海老名市／神奈川県の比を乗じて推計している	そのとおりです。排出量の積上げができないので按分している。東京電力等から電力使用量等の

		が、人口等で按分しているのか。	情報が提供されないなど、各家庭、事業所等からの排出量を正確に把握することは不可能である。
2	委員	温室効果ガスの削減取り組みについては、具体的な記載があり、よい。実際に取り組むシステム等はあるのか。	県では、エコ簿の登録を行っている。市では「地球にやさしい家庭づくり」により進めていき、取り組む世帯数を増やしていく。
3	委員	エコ簿の関する学習会をコミセン等の地域で開催すれば、より普及すると思う。	エコ簿でなく、地球にやさしい家庭づくりの講座を実施する。また省エネアドバイザーを養成してから地域の講習会を実施する。講座を実施していく
		コミバス利用率アップのため、アンケート等による実態を把握した取り組みが必要ではないか。	まちづくり部で取り組んでいる。
4	委員	民間企業では、省エネ月間を設定し、優秀な部署には社内において表彰し、発表の場を設けた。取り組みの励みになると思う。市役所でも取り入れたらどうか。	庁内では、ISO14001により環境への取り組みを行っている。市民向けの地球にやさしい家庭づくりの中で、エコ川柳、家庭における省エネ行動で表彰している。
5	委員	エコマーク商品に対する考えはどうか。	制服の90%以上はエコ商品、市役所本庁舎グリーン購入率は98.9%、その他の公共施設は97.5%を目標として取り組んでいる。
6	委員	ノーカーデーに関する表記を入れられないか。	市民それぞれ生活スタイルが異なるので、市民に対してノーカーデーを設定するのは難しい。
7	委員	自然・省エネルギー設備に対する補助メニューについて、教えてほしい。	太陽光、風力があり、ただし、風力はある程度風速がない地域では効果がなく、申請は一件もない。水力はない。
8	委員	自動車渋滞緩和対策として、例えば右折レーン設置等に関する調査等について考えてはどうか。	アイドリングストップの励行など総合的な交通対策として検討する。

【全体】

No.	発言者	質問・意見	回答
1	議長	電気自動車の取り組みは	電気自動車については、市役所構内でコンセントは残っており、施設は使える。平成21年度は電気自動車の予算措置をしている。県では、県下全体に急速充電施設を均等に設置していく意向があり、市内の県産業技術センターに設置されるので、市では設置しない。
		「横山九里の土手」に係わる土地について相続時に市で何年間か借り受けるなど保全することはできないか。	環境基金が創設されたが、土地の確保等については、何億と積まないとは不可能である。限られた予算の中で運用すると限定されるので個別対応になる。
2	委員	地域推進計画の実行性を担保するためには、平成24年度まで7.8%削減に関して、年度ごとの目標が必要ではないか。	具体的な取り組みがあつて、数値目標を設定していくが、家庭等における削減量の把握が難しく、現状では難しい。重点目標を掲げていく。

上記の議論を踏まえ、「仮称」海老名市第二次環境基本計画(素案)については了承された。

4. 閉会
白石副会長